

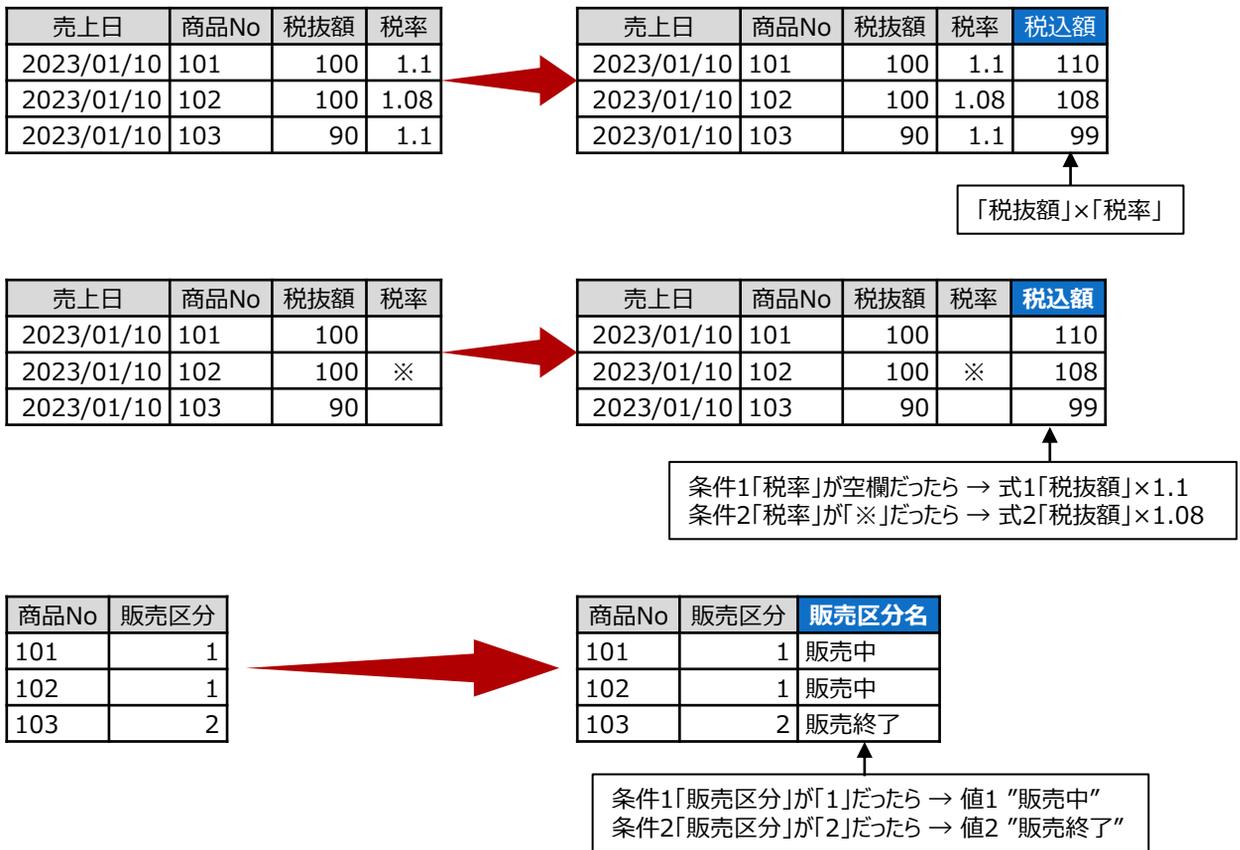
新規フィールド追加

テーブルに新しいフィールドを追加する

◇機能

《新規フィールド追加》は、テーブルに新しいフィールドを追加する機能です。《新規フィールド追加》で追加したフィールドは、「追加フィールド」とも言います。

フィールドに表示する内容は、式（または値）で指定します。条件を設定し、条件ごとに表示する内容を変えることも可能です。



◇追加フィールドの作成方法

追加フィールドの作成方法は、3通りあります。

- テーブルを開いた状態で、メニューの《加工》-《新規フィールド追加》をクリックする。
- テーブルを開いた状態で、任意のフィールドのフィールド名を右クリックし、「新規フィールド追加」をクリックする。
- テーブルを開いた状態で、メニューの《プロジェクト》-《テーブルメンテナンス》をクリックし、テーブルのプレビュー画面で任意のデータをクリックして、テーブルメンテナンス画面のナビゲータで、《新規フィールド追加》をクリックする。

◇設定内容

1. テーブル名：

操作の対象となっているテーブルが表示されます。

2. フィールド名（必須）：

追加するフィールドの名前を入力します。

- フィールド名の長さは、64文字までです。
- フィールド名には、使用できない文字があります。

3. データ型（必須）：

追加するフィールドに適用するデータ型を「▼」をクリックして選択します。

- 数値の計算で、小数点以下の値が出る可能性がある場合は、「数値型（10進数）」を選択してください。「数値型（整数）」を選択すると、整数値で切り捨てられます。
- 「数値型（10進数）」を選択すると、「小数点以下の桁数」の設定欄が表示されます。「▼」をクリックし、1桁～5桁までの任意の桁を選択してください。※「小数点以下の桁数」は「6桁」まで表示されますが、5桁以内で選択してください（THUMGY Dataで扱える小数部分の桁数が5桁までのため）。

※桁数の選択肢から「6桁」を削除する予定です。

4. 書式設定：

「データ型」で数値型（整数・10進数）、日付時刻型を選択した場合は、「▼」をクリックして書式を選択します。

5. 初期値（必須）：

フィールドの内容を作成するための式（または値）を入力します。

- 条件式（7.以降）を設定する場合は、「初期値」には、条件式に一致しない場合に表示する内容の式（または値）を入力します。

6. 《式ビルダー》アイコン :

アイコンの左側の入力欄に式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。

7. 条件 (任意) :

条件によってフィールドに表示する内容を変える場合は、条件式を入力します。

8. 式または値 (条件を入力した場合は必須) :

条件に合致した場合に表示する内容の式 (または値) を入力します。

9. 《追加》ボタン (任意) :

複数の条件を設定する場合にクリックします。現在の条件が確定され、次の条件を入力する画面が追加されます。

- 《追加》ボタンは、《追加》ボタンがある行の「式または値」を入力すると使用可能になります。
- 条件は「適用順」の順番で評価されます (1が優先度高)。最後の条件まで評価して、条件に合致しない場合は、「初期値」の式の結果 (または値) が表示されます。



10. 《実行》ボタン :

実行します。表示された「テーブルメンテナンス」画面で、作成したフィールドの情報を確認し、《保存》ボタンをクリックします。「編集内容を保存しますか？」というメッセージで《はい》をクリックすると、テーブルにフィールドが追加されます。

<「テーブルメンテナンス」画面>

テーブル名	商品マスター					
データ型		文字型	数値型 (整数)	文字型	文字型	
書式設定			桁区切り有り			
フィールド名	1	商品No	商品名	販売単価	販売区分	販売区分名
	2	30103001	春の彩	800	1	販売中
	3	30103002	夏の輝い	800	1	販売中
	4	30103003	秋の調べ	800	1	販売中
	5	30103004	冬の折り	800	1	販売中
	6	30103005	四季の調べ	2,400	1	販売中
	7	30103006	四季の調べ Special Box	3,000	1	販売中
	8	30103007	四季の調べ PREMIUM BOX	3,200	1	販売中
	9	30104001	SAKURA Gold	3,500	1	販売中
	10	30104002	SAKURA Premium	4,500	1	販売中
	11	30104003	桜の里スペシャルA	1,450	1	販売中
	12	30104004	桜の里スペシャルB	1,450	1	販売中
	13	30104005	桜の里スペシャルC	1,450	1	販売中
	14	30104006	桜の里スペシャルD	1,450	1	販売中
	15	30105001	フラワーギフトS-1	680	1	販売中
	16	30105002	フラワーギフト S-2	680	1	販売中
	17	30105003	フラワーギフトm-1	700	1	販売中
	18	30105004	フラワーギフトM-2	700	1	販売中
	19	30105005	フラワーギフトXL	2,700	1	販売中

「テーブルメンテナンス」画面では、追加フィールドは、フィールド名の背景色が緑で表示されます。

11. 《削除》ボタン :

追加フィールドを削除します。《削除》ボタンは、「テーブルメンテナンス」画面の《追加フィールド編集》で追加フィールドの編集画面を開いた場合に使用可能になります。



12. 《キャンセル》ボタン：
実行せずに画面を閉じます。

◇入力例

以下のテーブルでの追加フィールドの作成例です。

(日付時刻型)	(文字型)	(数値型)	(数値型)
売上日	商品No	単価	数量
2023/01/10	101	100	4
2023/02/10	102	150	3
2023/10/10	103	90	10
2023/11/10	102	150	-1

●「金額」フィールド（単価×数量）を数値型で作成する

<ul style="list-style-type: none"> フィールド名：金額 データ型：数値型（整数 または 10進数） ※「金額」フィールドを数値にしたいので、数値型を選択します。 書式設定：桁区切り有り または 桁区切り無し 初期値：[単価]*[数量] 	(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 数値型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上日</th> <th>商品No</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/01/10</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>2023/02/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>2023/10/10</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>10</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>2023/11/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>-1</td> <td>-150</td> </tr> </tbody> </table>	売上日	商品No	単価	数量	金額	2023/01/10	101	100	4	400	2023/02/10	102	150	3	450	2023/10/10	103	90	10	900	2023/11/10	102	150	-1	-150
売上日	商品No	単価	数量	金額																						
2023/01/10	101	100	4	400																						
2023/02/10	102	150	3	450																						
2023/10/10	103	90	10	900																						
2023/11/10	102	150	-1	-150																						

●「金額」フィールド（単価×数量）を文字型で作成する

<ul style="list-style-type: none"> フィールド名：金額 データ型：文字型 ※「金額」フィールドの値を文字として扱いたいので、文字型を選択します。 書式設定：なし 初期値：[単価]*[数量] 	(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 文字型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上日</th> <th>商品No</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/01/10</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>4</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>2023/02/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>2023/10/10</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>10</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>2023/11/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>-1</td> <td>-150</td> </tr> </tbody> </table>	売上日	商品No	単価	数量	金額	2023/01/10	101	100	4	400	2023/02/10	102	150	3	450	2023/10/10	103	90	10	900	2023/11/10	102	150	-1	-150
売上日	商品No	単価	数量	金額																						
2023/01/10	101	100	4	400																						
2023/02/10	102	150	3	450																						
2023/10/10	103	90	10	900																						
2023/11/10	102	150	-1	-150																						

●「数量」がマイナスのデータを「返品」とし、それ以外は空欄とする「状況」フィールドを作成する

<ul style="list-style-type: none"> フィールド名：状況 データ型：文字型 ※フィールドに入る値が「返品」または空欄という文字データのため、文字型を選択します。 書式設定：なし 初期値："" ※「初期値」には条件に合致しなかった場合（「数量」がマイナス以外の場合）の値（空欄）を設定します。 条件（適用順1）：数量 < 0 式または値（適用順1）："返品" 	(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 文字型 <table border="1"> <thead> <tr> <th>売上日</th> <th>商品No</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023/01/10</td> <td>101</td> <td>100</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023/02/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023/10/10</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023/11/10</td> <td>102</td> <td>150</td> <td>-1</td> <td>返品</td> </tr> </tbody> </table>	売上日	商品No	単価	数量	状況	2023/01/10	101	100	4		2023/02/10	102	150	3		2023/10/10	103	90	10		2023/11/10	102	150	-1	返品
売上日	商品No	単価	数量	状況																						
2023/01/10	101	100	4																							
2023/02/10	102	150	3																							
2023/10/10	103	90	10																							
2023/11/10	102	150	-1	返品																						

● 「売上月」フィールドを文字型で作成する（関数を使用）

• フィールド名：売上月

(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 文字型

• データ型：文字型

※「売上月」フィールドを文字にしたいので、
文字型を選択します。
(関数の戻り値と同じデータ型)

売上日	商品No	単価	数量	売上月
2023/01/10	101	100	4	01
2023/02/10	102	150	3	02
2023/10/10	103	90	10	10
2023/11/10	102	150	-1	11

• 書式設定：なし

• 初期値：SUBSTR([売上日],6,2)

※SUBSTR関数については、「関数」を参照してください。この式の戻り値は文字型です。

● 「売上月」フィールドを数値型で作成する（関数を使用）

• フィールド名：売上月

(日付時刻型) (文字型) (数値型) (数値型) 数値型

• データ型：数値型（整数 または 10進数）

※「売上月」フィールドの値を数値として
扱いたいので、数値型を選択します。
(関数の戻り値と異なるデータ型を
選択することができます。)

売上日	商品No	単価	数量	売上月
2023/01/10	101	100	4	1
2023/02/10	102	150	3	2
2023/10/10	103	90	10	10
2023/11/10	102	150	-1	11

• 書式設定：桁区切り有り または 桁区切り無し

• 初期値：SUBSTR([売上日],6,2)

※SUBSTR関数については、「関数」を参照してください。この式の戻り値は文字型です。

◇追加フィールドの「初期値」および「条件式」で使用されるフィールド

追加フィールドの「初期値」および「条件式」の式に既存のフィールドを使用した場合、そのフィールドは、フィールド名の変更、書式の変更、フィールドの削除が行えません。

◇操作ログ

DEFINE FIELD [追加フィールド名] データ型 PIC 書式 **POSITION** n **COMPUTED**

初期値

式または値1 IF 条件1

式または値2 IF 条件2

...

※「データ型」は、「データ型」で選択した型により、ログが異なります。

データ型	ログ
文字型	C
数値型（整数）	N
数値型（10進数）	F DEC <u>n</u> n には、「小数点以下の桁数」で指定した桁数の数値が表示されます。
日付時刻型	D

※「データ型」で数値型、日付時刻型を選択した場合は、「PIC 書式」が記述されます。

データ型	選択した書式	ログ
数値型	桁区切り有り	PIC "True"
	桁区切り無し	PIC "False"
日付時刻型	yyyy/mm/dd など	PIC "yyyy/mm/dd" 選択した書式に応じた記述になります。

※「POSITION」には、テーブルでのフィールドの位置の数値が記録されます。

※条件式を設定した場合は、「式または値 IF 条件」が記録されます。

◇追加フィールドの編集・削除

追加したフィールドを編集する場合は、「テーブルメンテナンス」画面からフィールドの編集画面を開きます。式の内容を確認したい場合なども「テーブルメンテナンス」画面からフィールドの編集画面を開いて確認します。

追加したフィールドを削除する場合も同じ画面を使用します。

【「テーブルメンテナンス」画面を開く手順】

「テーブルメンテナンス」画面は、以下の3通りの操作で開くことができます。

- 対象のテーブルを開いた状態で、メニューバーの《プロジェクト》をクリックし、《テーブルメンテナンス》をクリック。
- 対象のテーブルを開いた状態で、表示エリアの任意のレコードを右クリックし、「テーブルメンテナンス」をクリック。
- ナビゲーターエリアの「テーブル」フォルダで対象のテーブルを選択し、右クリックして「テーブルメンテナンス」をクリック。

「テーブルメンテナンス」画面

The screenshot shows the 'Table Maintenance' (テーブルメンテナンス) interface for the '商品マスター' (Product Master) table. The table lists various fields with their IDs, names, data types, and values. A red box highlights the '販売区分名' (Sales Area Name) field in the table. A callout box with an arrow points to this field, containing instruction ①: 「対象のフィールドのフィールド名をクリックします。」 (Click the field name of the target field).

Another red box highlights the '追加フィールド編集' (Add Field Edit) button on the left side of the table. A callout box with an arrow points to this button, containing instruction ②: 「《追加フィールド編集》ボタンをクリックします。」 (Click the 'Add Field Edit' button).

The '追加フィールド編集' (Add Field Edit) dialog box is shown in the foreground. It contains fields for 'テーブル名' (Table Name), 'フィールド名' (Field Name), 'データ型' (Data Type), and '書式設定' (Format Settings). Below these are '初期値' (Initial Value) and '条件式' (Condition Formula) sections. The '条件式' section shows two conditions: '[販売区分] = "1"' and '[販売区分] = "2"'. At the bottom of the dialog, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '削除' (Delete), and '実行' (Execute). A red box highlights the '削除' and '実行' buttons. A callout box with an arrow points to the '実行' button, containing instruction ③: 「フィールドの編集画面が開きます。」 (The field edit screen opens).

Additional instructions in the callout box for step ③:

- 内容の確認や修正を行います。修正した場合は、《実行》ボタンをクリックします。
- フィールドを削除する場合は、《削除》ボタンをクリックします。

*《実行》、《削除》、《キャンセル》をクリックすると、「テーブルメンテナンス」画面に戻ります。編集・削除を行った場合は、「テーブルメンテナンス」画面で《保存》を実行してください。